

登録コード	ASP02500	開講年度	2026				
授業科目	地域環境共生学特別演習 I					担当教員	大窪 久美子
英文授業名	Advanced Seminar for Rural Environmental Planning I					副担当	鈴木 純・内川 義行・三木 敦朗
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。				⇔	地域環境の側面からアプローチしている論文を読解し, 地域環境共生学に関する論文の作成方法やプレゼンテーション能力を向上させることができるようになる。	
授業の概要	・ 地域環境の計画に関してさまざまな研究論文を読むとともに、フィールドにおいて研究論文の成果をどう活かせるか、また課題解決に向けた新たな研究を立てられるか、検討する。						
Contents:							
授業計画	第1回：里地里山における生物多様性保全の機能① (5) (担当 大窪) 第2回：農村の生活基盤と生産基盤の整備 (5) (担当 内川) 第3回：農村の気象環境の地域特性と評価 (5) (担当 鈴木) 第4回：林野利用の諸形態と森林の計画 (5) (担当 三木) 第5回：土地利用と地域景観の特性 (5) (担当 上原) 第6回：野生動物の保護管理のための調査研究の手法 (5) (担当 池田) 第7回：里地里山における生物多様性保全の機能② (5) (担当 大窪) 第8回：総合討論 (5) (担当 全員) () 内の数字は開講時限数で5時限/1日を最大としている。						
成績評価の方法	毎回行うレポートにより、総合的に評価する。秀：90点以上、優：80～89点、良：70～79点、可：60～69点、不可：59点以下とする。						
成績評価の基準	英文論文の要約が的確にできていれば「水準にある」, プレゼンテーションが明確で理解しやすい内容となっていれば「やや上にある」, 他の論文を引用し議論をふかめていれば「かなり上にある」, さらに今後の課題やその解決方法に言及していれば「卓越している」						
事前事後学習の内容	論文講読においては、課題となる論文を十分に読み込み、質問事項等を整理しておいてください。						
履修上の注意	論文講読においては、正確に訳すことに心がけてください。また、プレゼンテーションのための資料（パワーポイント）作成においては、聞き手の立場に立って作成するよう心がけてください。複数の教員が担当しますので、内容の変更等があるばあいは、それぞれの教員から通知されます。						
質問,相談への対応	随時受け付ける						
学生へのメッセージ	論文作成および発表についての基礎的技術を習得することが目的です。他院生の発表は非常に参考となります。						
【教科書】	特になし						
【参考書】	未定						